

フエ ベトナム都城と建築

伊藤 毅（東京大学教授）編

本体価格 4,300円＋税

B5判並製カバー装 本文176頁 口絵16頁 挿図169点

ISBN 978-4-8055-0851-0

ベトナムと日本の関係は、古くは奈良時代にさかのぼり、安土桃山時代には日本人町もあったし、香木や焼き物が輸入されていた。

ベトナムは、古くはインドと中国と日本、近代にあってはフランスと日本がこの地で交差した文明の結節点のごとき位置にある。そうした歴史を持つベトナムの都はフエに置かれ、今も訪れると、濠と城壁に囲まれた王宮が残り、また周囲にはフランス統治時代のフランス風建築が現存している。

二一世紀初頭の現在、ベトナムを知るには、ハノイとホーチミンもいいが、まず訪れてほしいのは古都フエにほかならない。そのフエの王宮と建築について、早稲田大学中川研究室と東京大学伊藤研究室、京都工芸繊維大学の田省一准教授による調査と研究をまとめた本が、このたび初めて一冊にまとめられた。

アジアそして東西交流に関心を持つ読者には必携の一冊。

藤森照信（建築家、東京大学名誉教授）

中央公論美術出版

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

e-mail: chukobi@chukobi.co.jp

お取扱いは

都市史・建築史上さまざまな重要な論点を含む対象であるベトナムの古都フエの全貌に、現地調査にもとづいて迫る、共同研究の成果。

目次

都市アイデアとしてのフエ——まえがきにかえて（伊藤毅）
フエの衝撃——ベトナム・フエの歴史的建造物群の佇まいとその保存修復の課題（中川武）

第一章 都城論

- 第一節 フエ都城の歴史
- 第二節 都城比較—世界史の中のベトナム都城
- 第三節 都城の占地と都市アイデア

おわりに—ベトナムのみやこ・フエ

第二章 都市空間論

- 第一節 フエの都市型住宅
- 第二節 フエ都城の街区形成
- 第三節 河川と集落

第三章 設計技術論

- 第一節 都市の配置寸法計画
- 第二節 皇帝陵の配置寸法計画
- 第三節 宮殿建築の設計技術の特質

フエ広域周辺図／フエ都城周辺図／阮朝京城図／おわりに

執筆者

伊藤 毅(いとうたけし):東京大学大学院工学系研究科教授
中川 武(なかがわたけし):早稲田大学理工学部名誉教授・博物館明治村館長
大田省一(おおたしょういち):京都工芸繊維大学デザイン・建築学系准教授
初田香成(はつだこうせい):東京大学大学院工学系研究科助教
赤松加寿江(あかまつかずえ):京都工芸繊維大学デザイン・建築学系専任講師
林 英昭(はやしひであき):ものづくり大学技能工芸学部専任講師

東京大学伊藤研究室調査報告「新しい都市史の試み」

2018年4月刊行予定

フリースラント

オランダ低地地方の建築・都市・領域

伊藤 毅 編

本体価 4,300円+税

B5判カバー装 口絵8頁 本文244頁

ISBN 978-4-8055-0852-7

2009年8月刊行 ※在庫僅少※

バスティード

フランス中世新都市と建築

伊藤 毅 編

本体価格 4,300円+税

B5判カバー装 本文196頁 口絵4頁

ISBN 978-4-8055-0598-4